

レベル目安

タイ語科

各種資格レベル

対象レベル

達成目標

基礎

特にありません。

タイ語を初めて習う方。

読解Ⅰ:タイ語のアルファベット、子音文字、母音文字、声調符号などの基礎的な読み方の規則を覚え、簡単な単語と基本的な文章を読み、書け、意味を理解できる。

会話Ⅰ:タイ語の発音、文法、文の作り方、構文をしっかりと学び、日常よく使うフレーズを習得し、簡単な文を作れ、話せるようになることを目標とする。

初級

実用タイ語検定 5~4級程度

基礎級を終えた方、もしくはそれと同等のタイ語力のある方。

子音文字・母音文字、声調符号、つづりの仕組みを理解でき、「父、母、兄、弟、行く、来る、働く」などの単語が読め、意味が分かる。S+V+Oなどの基本文型が分かる。

読解Ⅱ:基本的な読み方の規則をマスターし、複雑な借用語(特殊な読み方)の読み方の規則も覚え、借用語や単文、複文を読めて書ける。

会話Ⅱ:少しずつ複雑になってきたタイ語の構文や語順をしっかり練習する。会話の場面に合わせて簡単な会話ができるようになる。タイ語で質疑応答の他、家族の紹介、時刻の言い方、電話で使う表現などを学習する。

中級

実用タイ語検定 4~3級程度

初級を終えた方。もしくはそれと同等のタイ語力のある方。

タイ文字の読み方の規則を習得し、「会社、大学、ラジオ、自然、建てる、電話をかける」など、やや難しいつづりの単語や日常会話、短い文章が読め、その意味を大まかに理解できる。

読解Ⅲ:スムーズな音読力(正確な発音)と読解力の養成。日常必要とされる単語を習得し、2-3行程度の文章が書ける。

会話Ⅲ:基本的な文法や会話を確認しながら、新しい文法や会話を習得していく。さまざまな場面を想定し、各場面にふさわしい、正しい言葉や表現を使った会話を練習する。自分の意見も言えるようになる。

上級

実用タイ語検定 3~準2級程度

中級を終えた方。もしくはそれと同等なタイ語力のある方。

タイ文字の読み方の規則を習得し、単文や複文、長文を読める。辞書を引きなからでも、その意味を大まかに取れる。

総合A、総合B:日常会話や旅行会話からもう一歩進め、文化的な話題を扱った文章を読み、作文やタイ人との自然な会話のやり取りができる。タイの一般的な文化、習慣、社会に関する知識を習得し、タイ人の考え方が理解できる。授業内容や進め方等に関する詳細につきましては、各講座案内をご覧ください。

特別講座 セミナークラス

タイ語科上級の修了者、または、これと同等の語学力(実用タイ語検定準2級以上)を有する方、タイ語で書かれた新聞やニュースを概ね理解できる方が対象です。

追記: ご自分のタイ語水準の分からない方は初回授業の際、担当教員にご相談下さい。